

令和元年度 第3回 蕨市公民館運営審議会 会議録

開催日時	令和2年3月27日(金) 午前10時00分～11時30分
会場	中央公民館 1階 集会室
出席者 (順不同)	大鷲輝国会長(議長)、園川泰子副会長、笹恵子委員、小西政勝委員、中村和弘委員、宮寄直子委員、村川奈津子委員、高野眞由美委員、土肥仁美委員、朝倉伸行委員、長谷川昭委員、小澤俊子委員 12名 加納克彦(中央)・岡部次男(東)・星野尚子(西)・野田智之(南)・鈴木啓文(北)・大山麻美子(下蕨)・井田誠(旭町)各館長、松永祐希 課長・竹田有里 係長(生涯学習スポーツ課)、瀬口正浩 係長・加藤裕子 主事(中央、書記) 11名
	<合計> 23名
欠席者 (順不同)	松原由紀恵委員、山田由紀子委員、中捨文子委員
主な添付資料	資料1、令和元年度 第2回 公民館運営審議会 会議録(案) 資料2、令和2年度 蕨市教育行政の重点施策 資料3、令和2年度 公民館予算 資料4、令和元年度末 コロナウイルス対応等関連 資料5、改訂 生涯学習推進計画(第3次 後期)策定 資料6、前回から継続の資料提示
会 議 内 容 (要 旨)	
<p>&lt;公民館運営審議会&gt; 午前10時00分 開会 議 事</p> <p>①前回会議録の承認 報 告</p> <p>(1) 令和2年度 蕨市教育行政の重点施策について 【資料2】 (2) 令和2年度 公民館予算について 【資料3】 (3) 令和元年度末 コロナウイルス対応等関連について 【資料4】 (4) 改訂 生涯学習推進計画(第3次 後期)策定について 【資料5】 (5) 前回からの継続資料提示 【資料6】</p> <p>1、開会 ※傍聴希望なし。</p> <p>2、あいさつ 大鷲会長 開会あいさつ</p> <p>3、議 事</p> <p>①前回会議録の承認 資料1『令和元年度 第2回 公民館運営審議会 会議録』(案)をもとに、質疑なく承認された。</p>	

## ②報告事項

(1) 資料2『令和2年度 蕨市教育行政の重点施策』について事務局から説明。

(2) 資料3『令和2年度 公民館予算』について事務局から説明

(3) 資料4『令和元年度末 コロナウイルス対応等関連』について事務局から説明

委員：他の施設のことだが、図書館は読書室ではなく、立ち席状態でもよいので、貸し出し業務をしてもよいのではと感じている。

※事務局付記／図書館は、本館・分館とも「休館」だが、予約システムは街稼働しており、通常よりも貸出可能数を増やしての予約本の受け渡しや、返却ポストでの資料返却などを行っている。

委員：学校は3月初めからの休校で児童生徒は平日の日中は自宅待機状態。心身のストレス解消が心配されるなか、放課後の校庭開放で体を動かす機会が提供されている。子ども達も辛い状況。自宅での課題は出されてはいるが、テレビやゲームなどで時間を過ごしていないか、生活習慣の乱れも心配。外出の禁止まではしていないが、今後、感染拡大が収まるようなよい方向に向かえば学校や公共施設の開放も今とは変わってくると思うが、今後の子ども達の行き場・受け皿が心配。慣れていない初めてのことなので手探りである。

委員：学校の校庭開放には、大勢が来ているのか？

委員：「大勢」が「集まらない」というのが予防の趣旨なので、集団での遊びはしてはいけないことになっている。例としては個人で体を動かしたり遊んだりするような、校庭を走るとか、縄跳びなど。ボールを使ったものなどは行ってはいけないこととなっている。

(4) 資料5『改訂 生涯学習推進計画（第3次 後期）策定』について事務局から説明

(5) 資料6『前回から継続の資料提示』について事務局から説明

## 4、その他

委員：コロナウイルス感染拡大防止で自分の活動するサークルは休止中だが、このまま長引いた場合の会員減が心配。

委員：自分が活動している「音楽を広める」活動では、3月に予定したコンサートを中止した。毎回、楽しみにしている人が多い事業で残念だが、準備を進めていた演奏家・演者側も同じ。蕨市だけでなく全国的に色々な事業の中止・延期が続くなかで、演奏家は収入面でも、また、先が見えない状況下で、人前で演奏できない、モチベーションを保つという面でも難しい。早く、普通通りに演奏できるようになればよいのだが。

委員：報道が過剰気味かと思うこともあるが、自身の活動するダンスのクラブは、最高齢会員は88歳で感染時の心配もある。休止中の現在は指導者がグループラインを使って会員に画像を配信しての「自宅学習」形式をとっている。そういう意味では高齢者も新しい機器や操作に触れる機会となった。先々の各種大会や今秋の地区生涯学習フェスティバルといった活動発表の催しは、開けるのかどうか不安。

委員：自身の日本語ボランティアの活動は、3月は休止中で、4月以降の活動をどうするか検討し始めるところである。再開の時期と感染拡大防止に

向けた改善とを見据えながらだが、課題が多く悩ましいところ。

委員：公民館以外のところでは、ケアマネージャーとして高齢者支援の活動をしているが、毎月の自宅訪問は自身の感染を防ぐなど身を守りながらの支援となっている。(関係者間では)MCS(=メディカルケアステーション/タブレット端末等で、医療関係者や介護関係者間でタイムライン形式による情報共有を目的としており、セキュリティに配慮した「完全非公開型」のSNS)を使った連携を取っている。高齢者対象に市内各所で実施の「生き生き100歳体操」も中止しているが、例えばCATVの活用といった、なにか体を動かす機会・啓発となるものを検討中で、健康を維持しながらこの難局を乗り切っていく話し合いが必要。

委員：バランスボールやヨガなど、体を動かす活動が、活動休止のなかでなくなってしまう「自宅で自から体を動かすようにしなければ」と思っているけれども、実際には、なかなか1人では続かない。4月以降に活動再開をすとしても(団体内で)だれが、どのように決めるのか、難しい。

委員：自分が携わっているなかでは、学校体育館を会場に行っているバドミントンは、3~4月はもともと、卒業式・入学式の間は(会場に紅白幕を張っているなど)使えない時期なので、その点は良かったが、体操系の活動は、会員から休みの申し出が多く、高齢者は体力的な衰えが心配。3B体操では(全国)本部からは活動中止指示が出ているが、接触を減らし工夫して行えば方法はあると思う。そこで、現在のところは週に1回、屋外で希望者のみでだが、人と人の間隔を広げる(=ソーシャル・ディスタンスを保つ)、帰宅後はうがい手洗いを徹底する、体調が悪い時は無理せず欠席する、などのもと、体を動かす機会を設けている。何か不安があれば連絡をもらうようにしており、見守り・安否確認を兼ねることができると考えている。

委員：合唱に参加しているが、窓を開けて換気をし、向かい合わずに一定の方向に向かってなら活動も可能かと思うが、反面、それでも不安に思う会員もいる。

委員：今回は各国でも対応に困っており、感染経路不明なケースも増えている。会合時のマスク着用で発言が聞き取れないこともある。会合はマイクを回して発言するにしても飛沫感染防止などの手間がかかる。必要な事項を簡潔に説明して短時間で済ませるなど対策を十分に考えて開くようにすることが必要。4月以降の各団体の活動再開をどうするか、また、団体内で分かりやすい連絡体制を整えておかないと、中止時・再開時とも会員に徹底できない

委員：近隣市の公民館が休館で利用させていないなか、蕨市はなぜ開いているのか？

事務局：すでに施設予約済みの活動や会合の急な中止・利用停止は、混乱が生じるとの考えから、感染防止に注意のうえ、今のところは団体の判断で使用できるようにしている。

委員：利用できるのはありがたいが、利用上の注意事項を示してもよいのでは。また、現在の市のホームページでは公民館は「利用制限」とされており、なにがどのように制限されているのか、使えるのか使えないのか、周知が十分でなく分かりづらい。

委員：今も公民館利用の受付はしているのか？

事務局：市の対応方針により、受付はしているが、4月15日までの利用分については、その時点で受けているもののほかは、新たな利用は受けていない。

委員：図書館や他の公共施設の状況は？

事務局：図書館・歴史民俗資料館は休館しているが、図書館は予約システムでの本の予約を受けており、その受け渡しや貸し出した本の返却は返却ボックスを含めて行っている。分館のある東・西・北町の各公民館内でも同様に受け渡しや返却受付を行っている。

委員：自分が携わっている子育て支援の活動も、ほぼ中止状態。子育てに中止はないので、親子が家に閉じこもり、ストレスを抱えていないかどうか、大丈夫かどうかを心配している。

委員：以前から話題に挙げている「施設の予約システム導入」は、今すぐには求めないが、館の利用状況だけでもWEBで見られるように、すぐにもしてほしい。

委員：新年度は、このコロナウイルス感染拡大防止の風潮の中、秋の各地区のフェスティバルは行うのか？

事務局：今のところ、行う予定。

委員：旭町公民館に併設の「文化ホールくるる」の状況はどのようか？

委員：主催事業は中止しているが、団体の利用はできる。

委員：くるるを会場に行った自分も携わっている団体の催しは2月の終盤に、ぎりぎりでも実施できたが、事前には、行ってよいものかどうかを悩んだ。来場者には必ずマスク着用するなどの周知を行った。その後は今のところ、当日の来場者が発症するなどの情報はなく、ひと安心はしている。催しを準備する側の気持ちとしては、本番がなくなること避けられてよかったのだが、施設設備によっては換気をしながら行うなどといったこともできない。

委員：新年度に向けた市民音楽祭の「紅白歌合戦」は、3月に出場者のオーディションが予定されていたと思うが、どのようか？

事務局：今のところは行う方向。ただしオーディションは4月に延期して行う予定。

委員：生涯学習推進計画は、完成した冊子はこういった人（や場所）に配るのか？また、ホームページでの閲覧もできるようにすると思うが、そのためのQRコードが冊子内に印刷されるとよい。

事務局：公民館運営審議会委員のみなさまのほか、関係の機関・組織、公共施設などにお配りする。QRコードの印刷は検討する。

委員：生涯学習推進計画について、何点か意見や考えを述べたい。①市民の意識調査結果を見ると「活動に参加していない理由」に「興味がない」のほかに「時間・情報がない」との回答があるが、自らの意識があれば、必ずしも「時間や情報がない」とはならない。計画は「展開・取り組み」「課題と解決」といった構成になっている。「時間・情報がない」との「後ろ向き」な回答に、今後はこの計画に基づいて、まさに「PDCA」で対応していくことが必要。団体の会員減をどうしたらよいかなども、より突っ込んだ取り組みを。②各種の相談に乗るような仕組みや場が必要である。例えばインターネットの活用により、市民と市との意思疎通がより進み、結びつきが強くなっていく。さいたま市などには（公民館や

生涯学習などについて) 相談できる総括的な場所(部署)がある。蕨市にもそうした総括的に相談できる場所があるとよい。

委員：周知が行き届いていない面もあるかもしれないが、文化ホールくるる内の「わらびネットワークステーション」では、そうした相談や団体紹介などの業務を行っている。計画冊子内でも紹介のページがある。

午前11時30分 園川副会長 閉会あいさつ、閉会